

令和3年度 釧路支部の活動に向けて

北海道看護協会 釧路支部

支部長 井上 操



会員の皆さまにおかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より釧路支部の事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度より釧路支部長を務めます。初めての任務に加え、昨年ほぼ中止となった支部活動をどのように再開するのか具体的な方策が見えないままのスタートに緊張しています。

「去年と同じように」が通用しない状況ですが、第1回の役員会議から前向きに意見交換を行っています。①支部活動を安全に実施すること②目的達成のため従来にとらわれない方法を選択すること③事業開催に際し、支部役員のコロナによる本業の多忙さも考慮することなど検討しています。すでに中止となった事業もありますが、今後の方向性やオンライン研修への取り組みなどをいくつか紹介します。

1. 看護の日行事と高校生1日看護体験

コロナ対策のため中止しました。今後は本部の意向もあり次代を担う若者へのPR活動に力を入れるよう検討中です。

2. 医療安全ネットワーク

医療安全研修を中心に行ってきましたが、本来の目的である「釧路地区におけるネットワークの構築」を目指し、研修会以外にも実務者が情報交換できるような体制を構築します。

3. 施設間交流研修

各施設に受入れを検討して頂きました。今後は希望者を募り調整します。

4. 研修会

支部担当研修「新型コロナウイルス感染症における感染対策取組み」(9/11)看護研究合同発表会(11/13)はオンラインによる実施。管理者懇談会(10/30)は時間を短縮、人数を制限して対面で実施します。

オンライン研修は何分不慣れで会員の皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、遠方の会員が参加しやすいメリットもあります。

今年度の事業ではコロナをテーマにした研修が多くあります。釧路地域の会員の皆さまがそれぞれどのように取り組んできたのか共有する貴重な機会になります。

ぜひご参加いただき、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

きんれんか

第53号

発行日

2021(令和3)年8月

釧路支部会員数

(令和3年7月)

保健師 80名

助産師 44名

看護師 1725名

准看護師 61名

総数 1910名



頑張るナース

釧路赤十字病院 感染管理認定看護師 齋藤 貴子

私は2019年12月に北海道医療大学の認定看護師研修センターを修了し、2020年12月に感染管理認定看護師資格を取得しました。研修センター修了とほぼ同時に新型コロナウイルス流行の兆しがみられ、未熟ながらも感染管理の実践が求められる立場となり、上司や所属長、部署スタッフの支援の基、突如 with コロナの活動が始まりました。

現在は外来に所属し、発熱外来の対応やCOVID-19 隔離病床の管理を担当しています。発熱外来は主にCOVID-19 や疑似症の対応として、かかりつけ患者さんや保健所、クリニックからの紹介患者さんの検査対応を行っています。日々、疑似症患者の対応を行う外来スタッフへ防護具着脱レクチャーを行い、患者対応時の感染リスクと不安を減らすことができるよう取り組んでいます。また、COVID-19は症状発現2日前から感染力があるため、無症状の患者さんと接する場合にも標準予防策を徹底し、職員の休憩では黙食を徹底し、マスクを外した状態での会話は避け、狭い空間を長時間共有しないようお願いしています。のちに患者さんや同僚の感染が判明したとしても濃厚接触者とならない行動をとることが重要です。

隔離病床では乳幼児から高齢者までの幅広い年代、さらには妊産婦も受け入れているため、感染対策や疾患の知識技術のみならず、幅広いスキルが必要となります。各病棟の協力を得てあらゆる部署から隔離病床担当の看護師が配置されおり、個々の強みを活かし、「できないことがあれば申し出ましょう。できる人がカバーします」という姿勢で、互いに支え合いながら勤務しています。慣れない環境に置かれ、自身の感染リスクも背負うため、従事するスタッフは精神的なストレスも大きいと思いますが、一人ひとりの患者さんと向き合いながら自分にできることを主体的に実践してくれています。

COVID-19 がそうであるように、感染症は人の命を奪う脅威となりえます。実践者として現場で働くスタッフや、当院で療養を続ける患者さんにとって安全・安心な環境を提供できるように、周囲の方への感謝の気持ちを忘れずに、感染対策強化に向けた取り組みを続けていきたいと思っています。



2021(令和3)年度 北海道看護協会釧路支部 役員・委員長

支部役職名	氏名	所属施設
支部長	井上 操	釧路赤十字病院
第1副支部長	八重樫 真希	市立釧路総合病院
第2副支部長	三浦 真佐子	釧路総合振興局
第1書記	福士 理絵	市立釧路総合病院
第2書記	木村 瑞恵	釧路赤十字病院
第1会計	柏木 勇生	釧路労災病院
第2会計	藤澤 国雄	釧路協立病院
教育委員長	桐林 弥生	市立釧路総合病院
保健師職能委員長	澤谷 圭子	釧路町役場
助産師職能委員長	小林 玲奈	市立釧路総合病院
看護師職能委員長	千葉かおる	市立釧路総合病院
働き続けられる職場づくり推進委員長	高崎 直子	釧路労災病院
推薦委員長	木村 香	釧路三慈会病院



北海道看護協会 釧路支部 委員紹介

教育委員会

市立釧路総合病院 桐林 弥生

教育委員会は6名で構成されており、主な活動内容は研修会の企画と運営です。昨年度は新型コロナウイルスの影響で研修はすべて中止となってしまいました。今年度は継続した企画・運営が出来るように、新たな試みとしてWeb研修へ変更し実施する事としました。支部担当者研修は9月11日「新型コロナウイルス感染症における感染対策の取り組み」、11月13日「北海道看護協会釧路支部看護研究合同発表会」を予定しています。感染防止対策を考えながら企画・実施していけるものを模索したいと考えております。今後も会員様のニーズに沿い、また、安全に誰もが参加できるような研修を考えていきたいと考えています。一人でも多くの方の研修参加をお待ちしています。

保健師職能委員会

釧路町役場 澤谷 圭子

各市町村においては、高齢者をはじめとする新型コロナワクチン接種業務が加わり、予約受付や集団接種等で多くのスタッフの調整・協力と関係機関との連携のもと、接種体制の整備及び接種の推進に向け現在進行中の作業も多いことと思います。これに伴い、保健師職能委員会の事業計画について協議したところ、保健師職能委員自身が保健師職能委員活動の十分な時間が確保できないことから、例年2回計画している保健師職能集会は残念ながら中止することになりました。

会員の皆様には、会費に見合う十分な活動ができないことを心よりお詫び申し上げます。

なお、事業規模を縮小することにはなりますが、年間3回発行予定の保健師職能だよりにおいて、保健活動の推進につながる記事を掲載する等情報共有に努めたいと考えておりますので、今後も皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

助産師職能委員会

市立釧路総合病院 小林 玲奈

令和3年度は、委員長・市立釧路総合病院 小林 玲奈、書記・マタニティアイ 成瀬 恵、会計・釧路赤十字病院 斉藤 千波の3名で活動しています。

今年度の活動目標は、①職能集会を通し、多職種施設間との交流・情報共有を通し、専門性の向上を図ることができる。②女性のライフサイクル全般に関わる健康の推進を向上させるため、地域に根付いた母子保健活動を行うことができる。この2点を掲げております。主な活動として、助産師たより年2回の発行を通し、各施設の会員の皆様へ委員活動の様子や、各病院・助産院の最新情報の伝達などを行っていきます。また、助産師職能集会は昨年度より続くコロナウイルスの影響もあり安全に実施させていただくためにも今年度は実施せず来年度に向けて準備を整えていきたいと思っております。2職能(保健師・助産師)、3職能(保健師・助産師・看護師)は開催する予定ですのでどうぞ宜しくお願い致します。

看護師職能委員会

市立釧路総合病院 千葉 かおる

看護師職能委員会は、看護師としての知識の向上を図ることや看護連携により看護の質向上を目指し活動しています。

委員は、各病院や施設、訪問看護ステーションなどの看護師6名で構成され、看護師職能集会や三職能合同集会を企画・運営しております。在宅療養が重視され、医療機関で働く看護師と介護・福祉関係・在宅領域で働く看護師間の連携がより一層大切になってきています。

今年は、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、看護師職能集会や三職能合同集会はWEB研修を活用し、開催する方向で活動しています。医療現場で働く看護師は常に危機的状況にあり、この状況をわかりあえる看護師同士の交流はお互いの心の支えとなっているはずですが、次年度は、釧路地域の看護の連携強化に向け、研修の開催方法を検討し少しでも交流の場が持てることを願っています。



働き続けられる職場づくり推進委員会

釧路ろうさい病院 高崎 直子

働き続けられる職場づくり推進委員会は、主に会員及び地域への広報活動を行っています。また、例年であれば「高校生の1日看護師体験」を企画し、未来の看護職を支援する活動も行っています。しかし、昨年から新型コロナウイルス感染拡大が世界を脅かし、私達の活動も中止を余儀なくされる状況にあります。

しかし、このような状況下でも、看護師は現場で働きながら、認定看護師等の資格を取得するなど常に前進しています。



地域で働く看護職の頑張りや、支部の各委員会活動を広く広報し、皆様のやる気に繋がる情報を発信していきたいと考えております。

推薦委員会

釧路三慈会病院 木村 香

推薦委員会は、看護協会釧路支部の要となる支部役員、推薦委員を推薦させて頂くにあたり、その任務を担い得る適正な方を推薦する目的を持ち、会員の皆様から公平な視点で選出させて頂き支部長に報告する役割を担っております。

今年度は、令和4年度支部改選役員候補者、第1副支部長、第2副支部長、第1書記、第1会計、推薦委員3名、令和4年度北海道看護協会代議員候補者、令和5年度日本看護協会代議員候補者の推薦を行ってまいります。

日々の多重な役割に加え、昨年度からの新型コロナウイルスへの対応、今ではワクチン接種への対応と本当に大変な思いをされていることと思います。

そんな状況下ではありますが、看護協会活動への理解と、参加の機会として、快くお引き受け頂けるよう努力していきたいと思っておりますので、何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

編集後記

例年になく釧路も暑い日が続いておりましたが、秋の気配も感じられるようになりました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、いつになく感染対策の強化や体調管理に追われる日々が続いております。その中でも、支部の活動を一步前に進められるよう各委員会が慣れないWeb研修を検討するなど、新しい形の活動を模索しております。

働き続けられる職場づくり推進委員会では、今後もより多くの皆様の活動・活躍等を報告して参ります。

編集委員

川野 みのり・田河 貴世

高橋 祥子・田端 多良子・高崎 直子

発行

北海道看護協会釧路支部

編集責任者

井上 操

担当

働き続けられる職場づくり

推進委員会

